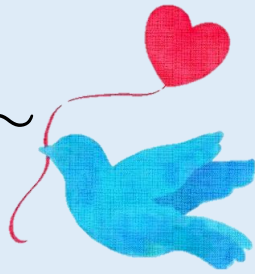


～患者様の声～



Nさん
71歳 男性



◆会社の健康診断で大動脈瘤が見つかる

3月16日、会社の健康診断でレントゲン異常のため再検査を勧められました。CTを撮ったところ胸部に大動脈瘤が見つかり、三郷中央総合病院で詳しい検査をしたところ解離性胸部大動脈瘤と診断されました。胸部の症状はありませんでしたが、病名を知りとても不安でした。早急に手術が必要と言われ、三郷中央総合病院の片柳先生より、池上総合病院の大熊先生を紹介していただきました。

◆不安解消

紹介していただいた翌日に大熊先生よりお電話をいただき、手術、入院等の細かい説明を受けました。大熊先生の穏やかで的確なお話を聞きとても安心して、池上総合病院で手術をお願いすることに致しました。ドクターカーの手配をしていただき4月4日入院となりました。手術に向けての検査も迅速で1週間以内に手術が決まり、私も家族も不安感がどんどんなくなっていました。

◆手術

4月8日、上行大動脈置換術の手術をおこないました。主治医になってくださった矢尾先生が手術の説明をしてくださり、こちらの疑問点に丁寧に答えてくださいました。手術当日は予定されていた時間の半分程で終了。たいへん驚きました。手術時間が短いのは身体への負担も軽減されたと大熊先生からの話を聞き、とても感謝しております。手術翌日のICU入院中、日曜日なのに矢尾先生が電話で家族に経過を報告してくださり、また直接家族とお話しもさせてくださいました。家族とはコロナで面会できない状態でしたので矢尾先生のご配慮に感激致しました。

◆次の日からリハビリ開始

手術の次の日からリハビリが開始されました。術後の経過もよく、思っていたより早く退院ができました。退院後の経過診察は三郷中央総合病院で引き継いでくださり、家族の負担もなく感謝でいっぱいです。大熊先生、矢尾先生、手術、入院に担当していただいたスタッフの皆様、大変お世話になり、本当にありがとうございました。